

平成 30 年度

旭区 区民利用施設職員研修会



「みんなで確認！施設の役割」(基礎編)

～区民利用施設って何だろう・ワーク鍋会議で話し合おう～

【日時】平成 30 年 7 月 6 日 (金) 14:00～16:30

【場所】旭区市民活動支援センター「みなくる」研修室

【参加者数】13 名 (地区センター5 名、コミハ 2 名、その他 6 名) *みなくる職員他 3 名

【内容】(時間は概ねの目安)

	時間	内容
1	14:00～14:10	・開講の挨拶 地域振興課区民施設担当係長 田中 淳一 ・講座の説明 講師紹介 参加者自己紹介
2	14:10～14:30	「みなくる」施設見学・説明 職員 榎本
3	14:30～15:10	講義開始 講師：NPO 法人 横浜市民アクト 理事長 福島 伸枝 氏 ① 市民利用施設の設置目的確認 ② 市民利用施設の役割とは ③ 市民利用施設で働く人の役割とは ④ 市民利用施設の窓口で働く人の共通認識構築について
4	15:20～16:20	ワーク「鍋会議」を行い、課題出しと解決策を共有
5	16:20～16:30	振り返り 終了の挨拶 地域振興課みなくる担当 川見 アンケート記入



【当日の様子】



地域振興課田中係長よりご挨拶。
本日の研修は、新任者の為の「基礎編」として実施致します。



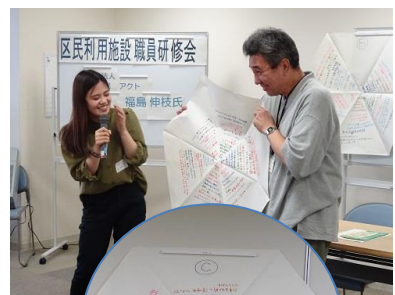
新任者対象ということから、施設見学・活動内容の説明を行います。「みなくる」内、各施設の情報コーナーもご覧いただきました。



**施設は地域の
大きなお家！
施設は楽しく・
何か得るもの
がある！**



講義では、各施設の設置目的は違っていても、市民が集い・交流し・学び合う場所は共通ということを再認識。施設は、色々な方が出入りし、情報収集の場・情報提供の場でもあり、気さくに話せる雰囲気と、ご利用者が公平に場を利用出来るよう心掛けること。そして、施設間が互いに助け合う相互間のつながりの大切さについて学びました。



各施設着任から3ヶ月が経った、本年新任の方々13名が参加されました。ワーク「鍋会議」では、参加者のみなさんとみなくる担当・職員も入り、3グループに分かれそれぞれの課題を出し合い、改善策を真剣に話し合いました。

【参加者のみなさんの感想（抜粋）】

- ・他施設の職員の声が聞けて、大変有意義でした。（3名）
- ・区内、他施設の方と交流する機会がなかなかない中、課題、目指していることなどが知れてよかった。
- ・講師の、施設スタッフの心構えは大変ためになるお話でした。大変ためになった等。（5名）
- ・館長・副館長・スタッフの人間関係の大切さを感じ取ることが出来た。
- ・施設職員として知っておきたい基本の話聞くことができてよかった。
- ・役に立つ気づきが多い研修会でした。
- ・やってきた事で良かった事もあり、自信になったものもありました。
- ・「鍋会議」を通じ、いくつもの課題があります。この手法で人の意見が見え易くなりそうです。
- ・「鍋会議」での皆さんの意見を参考に、職場でもコミュニケーションを大事にしながら働きたいと思えます。
- ・この研修を受け、自分たちが気付いたことを他のメンバーに伝えることで変わっていくといいと思えました。
- ・講座の内容が、もう少し充実していると良いと思いますが、このような機会は良かったです。